

# 令和元年度主要港督励巡視結果報告（船内）

報告者：兵庫県総支部 督励巡視団員（船内班）木戸 伸行

## 結団式冒頭挨拶（笹田照近団長）

### 安全とは

- 1、危険を考える事。
- 2、そもそも安全は存在しない、本来存在するのは危険である。
- 3、安全な状態とは危険を除去、又は制御し、その対策機能が維持されている特殊な状態である、

この言葉をよく心に留めておいて行動して下さい。安全対策とか安全に対する行動はすべてに優先する。その上で絶対に安全は存在しないと言う事をご理解しておいて下さい。又、凡事徹底と言う言葉があります。何でも無いような事を当たり前のように徹底してやる事、当たり前の事を人にはマネの出来ない事に一生懸命やる事。又、つきつめるほど徹底してやった先に何かあるのではないかとと言う事です。

### 巡視団員について

- ・我々団員は何処に行っても注目されています。服装や行動などを必ず見られている事を意識して下さい。その中で巡視に於いて率先して現場を回り、ただ付いて見るだけでは無く  
気にかかる事があれば足を止めて、よく見て頂きたいと思います。
- ・指差し呼称については、必ず誰よりも大きな声でやって頂きたいと思います。又、現場で働いている人達に必ず声を掛けて頂いて仕事に対するねぎらいの言葉（ご安全に、ご苦労様です）を掛けて頂きたいと思います。

### 巡視に対する注意点

- 1、巡視団員の衛生管理です。熱中症の予防対策、睡眠不足、緊張やストレスの無いようにして頂きたいと思います。
- 2、督励巡視はあら探しの場ではありません。危険な箇所や行動については当然、指摘事項なのでその場ですぐに是正するようにお願いします。又、よい行動やよい対策については大いに評価して下さい。
- 3、それぞれの港の独自のルールに関しては、それぞれの港で考えたルールなので自分達の

港のルールを押し付けずに尊重してあげてください。そして各港のいい所は持ち帰って自分達の港で取り入れるようにして下さい。

- 4、リスクアセスメントが導入されてしっかり活用されているか、リスクアセスメントを元に危険活動表が作成されているか、そして作業環境がそれに伴っているか見て頂いたらいいと思います。
- 5、危険の見える化（看板や目印など）がどこまで出来ているか見て頂きたいと思います。

#### 巡視に際して新しく導入する事

- 1、フルハーネスを着用して啓発しながらの巡視をする。
- 2、手板（クリップボード）を持っての巡視をやめ小さいノートに書き留めるようにして、なるべく手をフリーにしてパトロールするようにして下さい。
- 3、巡視後の意見をまとめるのに字が読みやすく、まとめやすくする為にパソコンを導入します。
- 4、写真を撮って巡視内容（良かった点など）を講評の時にプロジェクターに写してやるようにします。

以上の各点を主に巡視をお願いします。

#### 《第一日目》 「横浜港」 R1.7.23（火） 天気（雨のち曇）・気温（27度）

（発表者：大阪総支部 田中団員 書記役：中国総支部 村上団員）

作業会社名：宇徳港運（株）

場所：大黒埠頭 L-5 バース 本船名：ホワイトリリー号（在来船）

作業内容：舢舨から鉄板の積込み作業

#### 良かった点

- ・本船通路等の危険個所に注意喚起のピンクリボンを結び、危険の見える化がされていて良かった。
- ・ギャングウェイ乗降口にしっかりした木製のステップ台の設置と足元の注意喚起がされていて良かった。



- ・舢舨内の玉掛け者達が貨物の地切り後に自分達の玉掛けした箇所を安全確認を大きな声で

指差し呼称が出来ていて良かった。

- ・熱中症対策キット、休憩場所の位置が分かり易く地図で表示されていた。



#### 指摘事項及び改善事項

- ・特にありませんでした。

#### 質問事項 (回答)

- ・熱中症指数の計測中貼り紙がされていたが計測時間は設定されていますか？  
(基本は計測時間を設定していませんが、適宜に計測と言う事にしています)
  - ・舛内の貨物を地切りする際にデッキマン以外の方が地切りの合図をしているのを見かけたのですが誰の合図で巻き上げを開始していますか？  
(デッキマンからウインチマンに行っています)
- \* 大黒埠頭L-5 バースの在来船のパトロール終了後に南本牧埠頭 MC-1・2 に移動してAMP コンテナターミナル施設の屋上からコンテナターミナルの見学を行いました。

《第二日目》 「名古屋港」 R1.7.24 (水) 天気 (晴れ) ・気温 (34度)

(発表者：日本海総支部 景山団員 書記役：九州総支部 岸本団員)

- \* パトロール場所は NUCT (名古屋ユナイテッドコンテナターミナル) でコンテナ 2 船を巡視団員達は 2 班に別れてパトロールを行いました。

作業会社名：東海協和 (株)

場所：T・1 東 本船名：SITC BUSAN

作業内容：コンテナ揚げ作業 (250 本)

#### 良かった点

- ・ガントリークレーン下近くに置かれていたフォークリフトにはしっかり歯止めがされていてギアボックスや資材箱に対してカラーコーンで注意喚起がされていて良かった。



- ・デッキ上の作業責任者が赤い腕章を付けて区別されていて良かった。
- ・ガントリークレーン下の合図者が指差し呼称での安全確認がしっかり出来ていて良かった。

#### 指摘事項及び改善事項 (回答)

- ・本船沖側のデッキ通路にコンテナのラッシング材（ターンバックル）が約 1.5mの高さまで垂れ下がっていたので通路を歩行時に接触する危険があるので対策を講じて頂きたい。

(今後そのような事が無いようにしっかり固定するように致します。又、本船によっては物理的に固定が出来ない事もあるので、その場合はピンクリボンテープなどで注意喚起の対応をするようにします)

- ・KY ボード横に過去の作業時の古くなった KY ボードの一部が貼られており、紛らわしいので破棄をした方が良い。

(そのような物は撤去するように指導をしてまいりたいと思います)

#### 質問事項 (回答)

- ・本船上やガントリークレーン下などで熱中症対策が見当たらなかったのですが、熱中症対策としてどのような事を行っていますか？

(エプロン近くの休憩所に熱中症対策キットを配備しています、又、作業員達には適宜に塩飴や飲料水を持たせて水分補給をするように行っております)

作業会社名：大洋海運（株）

場所：T・2 西 本船名：GREEN HOPE

作業内容：コンテナ揚げ作業（122 本）

#### 良かった点

- ・喫煙場所、熱中症対策の場所が明確に表示されていて良かった。
- ・ギャングウェイ下のキャプタイヤ溝に転倒防止の措置がされていて良かった。
- ・工具箱に過去の事故事例等を踏まえて設置方法が写真で分かり易く表示されていた。
- ・ガントリークレーン下の合図者がメリハリのある動きで指差し呼称が出来ていた。又、合図者は 4 人で同時無線を使用して行われており良かった。

#### 指摘事項及び改善事項

- ・特にありませんでした。

#### 質問事項 (回答)

- ・デッキ上両サイドの足場が狭いのでラッシング、アンラッシング作業の安全対策はどのようにされていますか？

(安全帯のフックが掛けられる所は掛けさせて作業をさせていますがフックが掛けられない、親綱が張れない所は現状、注意して作業するしか無い状況です。又、それに対してデッキ両サイドの1段目、2段目に積むコンテナは8:6のコンテナを積むようにしてもらい、そしてデッキ両サイドの開口部は塞ぐようにして足場も広げてもらうなどの申し入れを船社側に言っております)

(本船設備の不良箇所に関しては名古屋港だけの問題ではないので今後、全国で情報を共有してもらい、このような危険個所の対策を我々としても進めて行きたいと考えております)

《第三日目》 「神戸港」 R.1.7.25 (木) 天気 (曇のち晴れ) ・気温 32 度

(発表者：東京総支部 住山団員 書記役：神奈川総支部 佐藤団員)

作業会社名：甲陽運輸 (株)

場所：摩耶埠頭 E 岸壁 本船名：グローバル コマ号 (在来船)

作業内容：上屋よりロッドワイヤーの積み込み作業

#### 良かった点

- ・ギャングウェイ乗降口にカラーコーンでの安全確保と KY ボード、救命浮輪があり良かった。
- ・ホールド内への昇降口に転落防止のセーフティブロックがあり、使用の確認もできた。



- ・船側では玉掛作業者及び検数員の退避場所が明確に確保され、玉掛け後はしっかり退避を行っていた。
- ・本船デッキ上の立ち入り禁止場所ではトラテープや突起物へはピンクテープで分かりやすく注意喚起がされていて良かった。



- ・船側の退避場所と本船デッキ通路にスポットクーラーの設置や瞬間冷却剤の入った保冷バック、給水器などが置いてあり熱中症対策が良好。



- ・貨物に対しての輪止めをしっかりと行っていた。
- ・デッキマンは指差し呼称で確認し合図を行っており玉掛け作業者との連携が出来ていて良かった。

#### 指摘事項及び改善事項 (回答)

- ・ホールド内で貨物の上にラッシャーが登っていたが、昇降設備が確認できなかった。
- ・フォークリフト後方確認時に前方の貨物から目を離すのが早かった。又、動きながらの指差し呼称になっていた。
- ・船側の作業で玉掛け時に玉掛け作業者がカンザシの真下で玉掛けを行っていた。
- ・船側に貨物を持って来たフォークリフトが離れきってないのに検数員がチェックに入るタイミングが早かった。

(上記の指摘事項 2 件及び、改善事項 2 件、良かった点 7 件に関しては神戸港全体で水平展開をして今後の安全活動につなげて行きたいと思うのでよろしく願いいたします)

#### 質問事項 (回答)

- ・玉掛けの吊り具がワイヤーではなくロープを使用していたが古く見えた為、点検はどのタイミングで行っていますか？

(これは専用吊り具で貨物を傷つけないようにワイヤーをロープで養生している物で点検は始業時行い、ワイヤーの寄りや損傷があれば早急に新しい物に交換するようにしています)

- ・フックに外れ止めが付いて無かったが理由はありますか？

(神戸港では作業資材に関しては共同資材〔共同で資材を管理している所〕に手配して借りています。今後も改善要請を行っていきます)

- ・デッキクレーンのオペレーターの熱中症対策はどのようにしていますか？

(運転席には水分を持って上がるようにしています。又、昼の休憩以外にも午前、午後に休憩を設けて水分や塩分の補給をするようにしています)

・作業前の船倉の酸素濃度の測定は行っていますか。

(作業開始前にフォアマンの有資格者が計測しています)

\*摩耶埠頭 E 岸壁の在来船のパトロール終了後にポートアイランドに移動して、沿岸班と港湾技能研修センター（神戸）＜技能向上訓練の為の施設＞への見学を行いました。



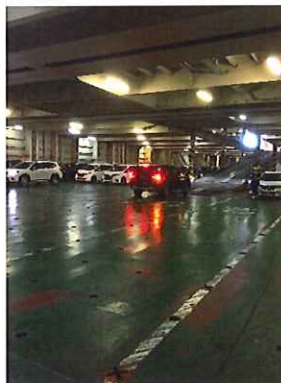
《第四日目》 「博多港」 R1.7.26 (金) 天気 (晴れ) ・気温 (34 度)

(発表者：北海道総支部 伊藤団員 書記役：日本海総支部 斎藤団員)

作業会社名：博多港運 (株)

場所：箱崎埠頭 7 岸 本船名：さんふらわあ とうきょう (内航 RO-RO 船)

作業内容：乗用車の揚げ作業



#### 良かった点

- ・コンテナを活用した休憩所に KY ボードや緊急連絡網の表示、救急箱、給水器、クーラーボックスなどが設置されていて熱中症対策もしっかり行われていて良かった。
- ・KY ボードの重点項目が分かり易く赤字で表示されていて良かった。



- ・運転者が乗車前に車両周りの一回点検や走行時の車間距離も良かった。

#### 指摘事項及び改善事項

- ・昇降設備のハッチの開口部が開いたままになっていたが、転落防止などの措置や注意喚起がされてなかった。
- ・安全掲示板に一部横書きの物が縦向きに貼り付けていて読みにくいので改善した方がいいと思います。

#### 質問事項 (回答)

- ・岸壁に駐車中の作業員送迎用の車への輪止めの位置がバラバラでしたが取り決めはありますか？  
(車両の右前にするように原則していますが、守られて無かったので統一するように徹底したいと思います)
- ・揚げ車両の発進時に誘導者がいなかったが、発進の順番の取り決めはありますか？  
(乗車前にしっかり発進の順番を決めているので特に誘導者は付けていませんでした)

作業会社名：日本通運（株）

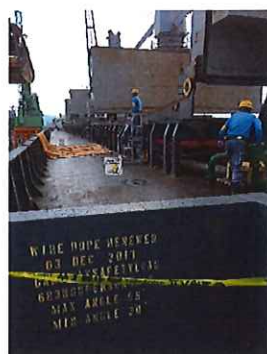
場所：箱崎埠頭 12 岸 本船名：UNI WEALTH

作業内容：バケットクレーンでの原糖（バラ物）の揚げ作業



#### 良かった点

- ・デッキマンが昇降台を使用して合図を行っていたが、しっかりと昇降台を固縛して安全帯も取り付けて合図を行っていた。
- ・本船デッキ通路に危険箇所への関係者以外の立ち入り禁止表示がしてあり良かった。
- ・熱中症対策も良好。





- ・荷役機械の作業計画及び危険予知に付いて安全掲示板で作業員に周知されていた。
- ・酸素濃度測定は各ハッチ4カ所で測定され表示されていた。
- ・危険予知実践表で暑さ指数予測が赤字で明示されていた。

#### 指摘事項及び改善事項 (回答)

- ・バケットとワイヤーを繋ぐシャックルの外れ止めが無かった。
- ・パイロット乗船口が開いたままになっていた。
- ・ギヤングウェイの乗降口に段差があるので足元注意などの注意喚起の表示があったほうが良い。

(良かった点に付いては両船で5件ずつ合計10件の多数の良い点を言っていただいて有難うございました、今後も更なる安全衛生活動を計って参ります。又、指摘事項及び改善事項は両船で5件ありましたが指示徹底の不足により見落としていた箇所があった事を深く反省しております。謙虚に受け取りまして改善に努力して安全に作業が出来る職場環境の整備に努めて参ります)

\*箱崎埠頭7岸、12岸のパトロール終了後に沿岸班と香椎パークポートコンテナターミナル管理棟に行き博多港について映像による視聴と説明を受けました。

---

初日の横浜港ではパトロールに出発する時まで雨が降っていましたが何とか雨も上がりあまり暑くない中でのパトロールになりました。しかし2日目の名古屋港から梅雨が明け、いきなり34度の気温の中でのパトロールになりました。今年は梅雨が明けたのが例年に比べて遅く、暑さに体が慣れる助走期間がほとんど無く、いきなり暑さ全開でのパトロールに

なり身体に堪えた人が多く居たと思います。又、各港では巡視団の受け入れの為に暑い中、早い時期からの準備やお世話をいただき有難うございました。

パトロール巡視結果の検討時に各港の団員達からの意見は自分では気が付かなかった事もあり、いろいろと参考になり勉強になりました。又、他港の良かった点などを参考にして私

の今後の安全衛生活動に役立てて行きたいと思います。

以上で報告を終了します、有難うございました。